

会 議 録

会 議 名	第 2 5 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 3 回		
事 務 局	公民館本館		
開 催 日 時	令和元年 8 月 6 日 (火) 午前 1 0 時～午前 1 1 時		
開 催 場 所	公民館本館 学習室 A		
出 席 委 員	荻込委員 岸川委員 照井委員 藤原委員 宗像委員		
欠 席 委 員	生馬委員		
事 務 局 員	大久保係長 小磯主査 倉澤主任 和田主事 溝江非常勤		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
	<p>1 公民館運営審議会の報告</p> <p>2 主催事業について</p> <p>(1) 事業の報告について</p> <p>①市民アカデミー (春期) について</p> <p>②子どもの人権講座について</p> <p>(2) 事業の計画について</p> <p>①成人学校「ペットと幸せに暮らすために」</p> <p>②市民がつくる自主講座について</p> <p>③令和元年度公民館本館主催市民講座について</p> <p>(3) 事業の途中経過</p> <p>①高齢者学級「生きがい広場」について</p> <p>②市民アカデミー (秋期) について</p> <p>3 その他</p> <p>令和元年度都公連委員部会第 1 回研修会</p> <p>4 配付資料</p> <p>(1) 第 3 4 期小金井市公民館運営協議会第 1 9 回審議会の報告</p> <p>(2) 令和元年度市民アカデミー (春期) 報告資料</p> <p>(3) 令和元年度子どもの人権講座報告資料</p> <p>(4) 令和元年度成人学校「ペットと幸せに暮らすために」実施要項</p> <p>(5) 令和元年度市民がつくる自主講座 (一般部門、男女参画部門) 一覧表</p> <p>(6) 令和元年度公民館本館主催市民講座資料</p> <p>(7) 令和元年度高齢者学級「生きがい広場」前半感想</p> <p>(8) 令和元年度市民アカデミー (秋期) 日程表</p> <p>(9) 令和元年度都公連委員部会第 1 回研修会開講のお知らせ</p>		

会 議 結 果

(要点筆記)

司会：荻込委員

1 公民館運営審議会の報告について

事業係長 第34期小金井市公民館運営協議会第19回審議会が7月18日に開催された。

報告事項・・・①都公連委員部会運営委員会について、菅沼委員から7月2日と7月4日の委員部会報告があった。②公民館事業の報告について 本館からは1件、子どもの人権講座「あなたは大切にされていますか?～私がわたしであるために～」を提出。

協議事項・・・公民館中長期計画について

審議事項・・・公民館事業の計画について・・・本館からは市民講座、成人学校及び市民がつくる自主講座を報告。

その他で公民館事業運営委託評価を集計したものを公運審の委員の了承を得た。公運審の委員の改選があり、改選後の第35期の会議が9月下旬から10月上旬に開催予定。

質疑応答なし。

2 主催事業について

(1) 事業の報告

①市民アカデミー（春期）について

小磯主査 春期の参加者は65人、出席者が少ないのは反省会で講義だけの出席率は約82%と高く、反省会の出席率は約39%と低かった。反省会への一般の参加者は10人だった。反省会で出た意見等は次年度の準備会で諮りたい。

岸川委員 今回から講座名が変わって、担当職員も変わった。準備会の委員が司会を担当したが、準備会委員であることを名乗らずに司会をしたため、参加者には司会がどういう人なのか分からなかったと思う。打合せが出来ていなかった。今年度は、野外研修をなくしたが、毎回熱心に参加してくれた。6月の空調の調整は、大変だったが、概ね良かったと思う。最終回の第8回は、交流の会で活発な意見が出され、参加意識を持つことにより、次回の準備会委員に加わったり、企画実行委員に目を向けていかれるステップとつながるので重要と思う。

照井委員 準備会の委員に段取りしてもらいありがたかった。反省会は、講座と違う形で次につなげるための会である。今回は、こういうことをやりますと明確に説明する必要があると思う。色々な事業があるがその中で基本的に市民アカデミーの立ち位置をある程度しっかりしておかないといけないと思う。意見として、コミュニケーションを図る部分と教養を高めるためのもので事業期間が長いという意味では、市民アカデミーに対するきちんとした考え方を持ちながらいかないと今後の準備会等でぐらつく可能性がある。

藤原委員 講座は、情報が大きすぎて質疑応答の時間がほとんど取れていない。講師がテーマを絞り込むことで質疑応答の時間を作る必要があり、第7回目のアニメ文化の講義は、前半が会社の宣伝が多く、後半は時間を十分に確保し、受講者に聞いたことは良かったと思う。

荻込委員 感じたことは、講座は準備会の人ベースになっていることと時間配分が必要で市民アカデミーの立ち位置等の課題を克服するような講座を作りあげていくことが良いのではないかと思います。
質疑応答なし。

②子どもの人権講座について

倉澤主任 全5回5月から7月に実施し、今年度が172人の参加で昨年度が150人の参加だったので、参加者が増えた。全5回中4回が定員に達した。参加者の年代別では、今年度は子育て以外の50代以降の参加者も多く、地域の子どものためのために何かしたいという意識高い参加者が多かった。

また、アンケートでは、参加した感想や講義の内容で満足度も高かった。

準備会では、講義のテーマを決めているが、準備会のメンバーに若い方を誘うために来年度の準備会の時間帯や曜日を変えている。

照井委員 子どもの貧困に興味があった。講義の中身は、良い話で講師等の選定も良かった。準備会メンバーが固定化してきて、新しい血を欲しいと言っていたことが印象的だった。色々な先生方も違う方が参加してくれればと思いました。

宗像委員 受付を担当したが、障害のある方の申込みが出来なかったので受付の方法を考える必要があると感じた。昔は、ネットで申込みが出来たが、今回は出来ず、議員からもやり方についての話があった。今回は一般の方の申し込みを断っているのにスタッフが座って受講しているのが気になった。受講者のための講座なのに配慮して欲しいと感じた。

また、保育なのに子どもを叱責している方が一部いて、子どもが泣いた。保育の人の選定はどのようにしているのか？もう少し考えて欲しいと感じた。

倉澤主任 情報システム課からは、市のメールのセキュリティがあがり、一般の方のメールがはじかれてしまうメールが出てきている。そのためしばらく講座の申し込みにはメールを使用しないと言われていたので、今年度は受付が出来ない状況にある。

スタッフは、席に余裕があれば担当の企画実行委員に中に入って見てもらっている。

保育は、貫井北センターで保育サポーターの研修を受講した方に来ていただいている。

荻込委員 今後もこの講座を継続するかぎりは、色々な課題を立ち上げてこの講座を推進していくのが良いのではと思った。

(2) 事業の計画

①成人学校「ペットと幸せに暮らすためについて

溝江非常勤 昨年度より定員を20名と半分に減らした。野外学習は、10月10日の月1回のセンター主催の見学会に参加する。野外学習の目的は、講座で講義を聞いてペットたちの現状を理解し、ペットの現状を見ることである。日程は、講師と相談して飛び飛びにした。どちらに参加するかは、企画実行委員の判断にお任せしたい。

照井委員 9月7日は、講座が重なってしまう。

宗像委員 野外学習は必要か？

溝江非常勤 個人で行くという第一歩が大変で現状を見ると見ないとでは大分違うため、野外学習は必要。

②市民がつくる自主講座について

和田主事 一般部門で10団体、男女共同参画部門で12団体に聞き取りを行い、苦勞

をしている。今回、男女共同参画部門の申し込みが多く、回数の調整を行った。保育の回数は、おおむね1回あたり2人として考えている。公運審で承認されたので、昨日、承認通知を発送した。貫井北分館での実施を希望する団体が多いため、承認通知に実施会場については相談させて欲しい旨を記載している。篆刻サークル小金井については、実施場所が本館と記載されているが、緑分館が近いので緑分館で実施する形で調整をしている。

岸川委員
和田主事

資料中の可否の否は、だめになった講座か？

その通りである。2団体が否となった。資料30ページのこがねいプラン・ドゥは、みんなの家の代表者と同一だったため、どちらかを選択してもらった。また、資料に訂正があり、思春期ママが「否」、ハッピー子育てが「可」と記載されているが、思春期ママが「可」、ハッピー子育ては、「否」が正しい。ハッピー子育ての「否」は、昨年度5回実施しているので相談したところ辞退の申し出があった。

③令和元年度公民館本館主催市民講座について

倉澤主任

実施要綱は、前回配布したもので確定。市民講座「夏休み！親子で考えるお金の仕組み」と「江戸名所図会の挿絵の湧水を巡る」を実施するに伴い、企画実行委員の出席者について確認したい。

8月30日が照井委員、9月1日が宗像委員、10月2日が藤原委員・苅込委員・宗像委員・照井委員、10月9日が岸川委員・藤原委員・宗像委員、10月16日が苅込委員・宗像委員・藤原委員が出席する。

「夏休み！親子で考えるお金の仕組み」は、8月6日現在、8組の申込がある。江戸名所図会の挿絵の湧水を巡る江戸名所図会は、9月2日からの申し込みとなっている。

質疑応答なし。

(3) 事業の途中経過

①高齢者学級「生きがい広場」について

溝江非常勤

7月30日で前半が終了した。感想にて、気になるのが「初めての参加で、何がなんだかわかりません。」という感想だった。高齢者学級に初めて参加する人が何人もいて、前半が部屋での講義が1回で戸惑ったかも知れない。後半もぜひ参加して欲しい。キャンセルが4人分発生し、繰り上げ当選を実施した。

岸川委員

講座は、和気あいあいとしていた。今回、昨年度の受講者が申し込んだが、新規参加者を優先するため半分くらいの方が落選している。落ちた人と市民アカデミーの講座で会ったときには、生きがい広場を落ちたことを残念にしていた。横のつながりを大切にするという点で市民アカデミーと棲み分けができてるのがむしろ良い。

藤原委員

講座は、出席率も良く、和やかである。受講者の顔と名前が一致し、良い関係ができています。

照井委員

市民アカデミーと生きがい広場の棲み分けが出来て良いと思う。

宗像委員

講座は、和やかな雰囲気が良い。ヨガのときに受講者に耳の遠い方がいて、1人でも聞こえない人がいると受講者のための講座のため、気になる。

溝江非常勤

講師には、マイクを使用するかどうかを確認したところ、マイクを使用しないとのことだった。今後、気をつけたい。

質疑応答なし。

②市民アカデミー（秋期）について

小磯主査 秋期は市報 7/15 号と月刊こうみんかん 7月号で募集し、新規 15 人、再応募 11 人、準備会秋期参加 7 人の計 33 人を受け入れ、定員に満たなかったため落選者はなし。内容は前期とほぼ同じ。実施は日曜日の午後 2 時～午後 4 時まで、会場は貫井南分館となる。

照井委員 秋期の申込者が少なかったのは、実施日の日曜日と実施場所の貫井南分館という二つの要因が大きかった。実施日は、若い人に参加してもらうために準備会が日曜日に決定し、実施場所については貫井北分館の会議室の予約が取れなかったために貫井南分館となった。貫井南分館に行くには、坂が多いし、遠い。日曜日に実施するのは、初めてではないかと思う。

岸川委員 秋期の申込者が少なかったのは、実施日の日曜日が影響しているのでは？
事業係長 実施場所について、貫井北分館の会議室の予約が取れなかったのではなく、春と秋に実施場所をあえて変えて実施している。貫井北分館と調整し、春期は貫井北分館で実施し、秋期は昨年度が東分館、今年度が貫井南分館、次年度が緑分館で実施することで調整をしている。

照井委員 講座のテーマは、テーマを絞って話をしてもらいたい。

岸川委員 後半は、前半のアンケートの結果を反映し、講義を実施すべきである。

小磯主査 講師には、時間配分を守ることを徹底していただき、また、毎回講義終了後のアンケートの結果を講師に送付しているので、秋期の講座に反映していただくと考えている。

岸川委員 アニメの講義では、会社の PR でなく、視点を変えた世界について話すことを認識していれば良いと思う。

小磯主査 秋期の講義が近づいたら、再度、講師へのメールの送付時にその点を検討していただくように考えている。

照井委員 受講者の声もさることながら、企画実行委員の中でもテーマを絞ることは難しいと思うが、テーマを絞って実施することを強調して、講師に伝えたほうが良い。そうしないと質疑の時間が確保できない。

3 その他

事業係長 令和元年度都公連委員部会第 1 回研修会は、成人学校「ペットと幸せに暮らすために」と重なるが、興味のある方は申し込んでいただきたい。申し込みは、8 月 9 日までに本館へ申し込んで欲しい。

岸川委員 第 1 回研修会ということは、第 2 回・第 3 回研修会が実施されるのか？
事業係長 確認する。

次回会議：9 月 3 日（火）午前 10 時から公民館本館学習室 A にて